令　和　６　年　度

福 岡 女 子 大 学 大 学 院
人間環境科学研究科　人間環境科学専攻
【博士前期課程】
案内

（付）令和６年度 福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科
人 間 環 境 科 学 専 攻 【 博 士 前 期 課 程 】
学　生　募　集　要　項
（自己推薦選抜入試・一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試）

公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

〒813-8529　福岡市東区香住ヶ丘１丁目１番１号
電話　(092)661-2411（代表）
URL　http://www.fwu.ac.jp/

目　　次

１．福岡女子大学の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科【博士前期課程】の
アドミッション・ポリシー・・・・・　1

３．教育課程の編成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

４．教育職員免許状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

５．社会人の入学について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

６．長期履修制度・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

７．自己推薦選抜入試について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

８．授業科目、担当者及び単位数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

９．研究内容・・　9

10．交通案内・・　12

（付）令和６年度　福岡女子大学大学院
人間環境科学研究科 人間環境科学専攻【博士前期課程】学生募集要項

○　入学願書

○　受験票

○　研究希望調書

○　受験許可書

○　在職期間証明書

○　自己推薦状

○　入学者選抜出願資格認定申請書

○　入学考査料振込金受付証明書貼付用紙

○　入学考査料振込依頼書

１．福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正 12（1923）年にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県立女子専門学校（文科、家政科）である。昭和 25（1950）年、第二次世界大戦後の学制改革により 4 年制の大学に昇格し、福岡女子大学となった。当初は学芸学部（国文学科、英文学科、生活科学科）のみの単科大学として発足したが、昭和 29（1954）年に文学部（国文学科、英文学科）と家政学部（家政学科、家庭理学科）の 2 学部構成となった。

平成 5（1993）年に、大学院文学研究科修士課程（国文学専攻、英文学専攻）が開設され、平成 9（1997）年にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置された。一方家政学部は平成 7（1995）年に人間環境学部（環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科）に改組された後、平成 12（2000）年に、大学院人間環境学研究科修士課程（環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻）が設置された。

平成 18（2006）年より公立大学法人福岡女子大学となって、さらに大学改革が推進され、平成 23（2011）年には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする 1 学部 3 学科体制の国際文理学部（国際教養学科、環境科学科、食・健康学科）が設置された。この学部理念のもとに、既設の人間環境学研究科を充実・発展させた新たな専門教育機関として大学院人間環境科学研究科が平成 27（2015）年 4 月に開設された。

このように本学は開学以来の歴史と伝統を持ち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献している。

２．福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科【博士前期課程】のアドミッション・ポリシー

本研究科は、生活科学・理学・工学・社会科学といった学問領域を総合化することによって、健康科学と環境科学及びその基盤である自然科学の観点から、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」を目指す「人間環境科学」の発展に寄与する。そのため、環境自然科学領域、栄養健康科学領域、環境マネジメント領域を設置し、高度な研究能力と知識を持ち、創造性に富む人材の育成を教育理念としている。

本研究科の学生には、教員と学生の距離が近い少人数教育の利点を生かして実験・実習・フィールドワークを自主的に実施し、大学院での学びを積極的に社会に還元することが求められる。

従って、学生には下記のような能力・意欲を期待する。

(1) 健康・環境分野に関心が高く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んでいること。
(2) 研究・実験に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持っていること。
(3) 化学や生物学を中心とする一般的な自然科学の知識を有していること。
(4) 健康環境・自然環境・生活環境に関わる現実的諸問題に関心が高いこと。
(5) 研究成果を健康な生活を支える環境調和型社会の実現のために社会に提案・還元する意欲を有すること。

領域ごとのアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

＜環境自然科学領域＞

「人間環境科学」が対象とする人（ヒト）をめぐる環境に関連した複雑で多岐にわたる現象を、自然科学を基に学際融合的に教育研究し、次世代を担う人材を養成することを目的としている。分子・細胞・個体やそれらを結びつけるエネルギーや物質循環といった自然環境について、物質科学と生命科学の角度から実験・理論の研究及び教育を行う。

本領域では、特に自然科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んだ人材を期待する。

＜栄養健康科学領域＞

栄養と健康に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の成因や予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのため、食と栄養に関する高度専門職業人として、臨床栄養師、食品企業の研究者や開発者、教育機関における教育者・研究者を育成する。学生には実験・調査等の研究活動に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。

本領域では、特に食と健康との関連性やその探究について特に高い関心を持ち、諸問題の成因や解決に向けた研究への取り組みや、その成果を社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

＜環境マネジメント領域＞

生活するヒトの生理、心理、行動の特性を明らかにし、ヒトと環境の相互作用について教育研究を行う。具体的には、都市・住居デザインの提案・設計、人間の心理・生理機能や行動様式の解析ならびにそれに基づく生活空間の設計、ユニバーサルデザインに基づいた都市・空間の評価と設計、環境変動に伴うヒトの行動様式などへの影響に関するデータ収集・分析などを行う。各研究の主眼は、人間と環境の境界領域の本質を人間及び環境の視点から科学的・工学的に捉えた上で、我々の生活を向上させるための境界領域の改良方策を具体的に提案するところにある。

本領域では、特に基礎となる自然科学系諸科目に習熟していること、生活環境と人間に関わる現実的諸問題に関心が高いこと、研究成果を具体的なデザインとして社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

＜入学者選抜の基本方針＞

・自己推薦選抜入試

入学者の選抜は、面接のほか書類審査の結果等によって総合的に判断して行う。面接では、当該分野の研究に対する熱意、希望する研究計画の妥当性、当該分野の研究に必要とされる学力や技能およびコミュニケーション・表現能力を基に総合的に評価する。

・一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目、英語）・面接のほか書類審査の結果等によって総合的に判断して行う。筆記試験では、各分野において必要とされる専門的知識及び思考力、さらに研究を遂行する上で必要とされる語学能力及び表現力を評価する。面接では、当該分野の研究に対する熱意、希望する研究計画の妥当性、当該分野の研究に必要とされる学力や技能及びコミュニケーション・表現能力を基に総合的に評価する。

３．教育課程の編成　※以下は令和５年度の情報です

人間環境科学研究科の教育課程では、国際文理学部での学部共通科目と専門科目を有機的に組み上げた少人数教育によるカリキュラムの基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としている。この目的を達成するために、教育課程の編成において、専門科目の他に、基本科目と研究科共通科目の区分を設ける（授業科目の詳細については、P6～P8 参照）。

Ａ　基本科目（必修）

研究科名を冠した特論・特別演習（人間環境科学特論・人間環境科学特別演習）で構成される。

3 領域に亘って「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」のために必要な種々の基盤となる専門知識・方法論の必要性を認識し、かつ、それらを統合することによって、環境や社会の問題を解決に導くことができる可能性を理解する。人間環境科学特論は 1 年次前期、人間環境科学特別演習は 1 年次後期に開講する。

Ｂ　研究科共通科目（必修・選択）

必修科目の特別研究のほかに、国内外の社会での実践で貢献できる人材育成を目指して、大学・公的機関・民間企業等での体験的学習を実施するキャリア科目（「国際研究活動」、「国際インターンシップ」、「専門職特別研修」）を設定している。

これまで国際文理学部は国際的感性やコミュニケーション能力を育成するため、国外での体験学習や交流協定校との交換留学などを実施しているが、「国際研究活動」等の授業を通して、研究科レベルでも一層の国際的感性やコミュニケーション能力を身につける。

Ｃ　専門科目（選択）

全て選択科目とし、人間環境科学研究科の教育課程の目的を踏まえて、以下のように各領域の教育課程を編成している。

● 環境自然科学領域

人間社会と相互に作用して生じる様々な**自然環境**における現象を把握し、自然および社会の環境問題の評価、およびその評価のために必要な物質科学的および生命科学的な現象解明やその解決に向けた技術的な対策を考えることのできる人材育成を目的とした教育研究を行う。

具体的な教育研究内容は、下記のとおりである。

(1) 自然環境における環境問題を調査して評価する知識・技術の習得
(2) 環境中の化学物質の特性を理解し、環境問題を引き起こしている原因を究明し、その問題解決に必要な知識・技術の習得
(3) 人の活動等に起因する環境変化が生命体の構造・機能や生態系にもたらす影響について分析して評価する知識・技術の習得

● 栄養健康科学領域

生活習慣病を予防・管理し健康な暮らしの実現を支援する**食環境**の整備を目指し、ライフスタイルの多様化に伴う様々な「食」と「健康」の諸問題を解決し、人の「健康」を維持する社会的環境を構築するために必須な基礎的、実践的知識および技術の習得を目的とした教育研究を行う。

具体的な教育研究内容は、下記のとおりである。

(1) 栄養素の摂取不足あるいは過剰摂取に起因する様々な疾病、生活習慣病のリスク増大といった「食」に起因する「健康」の諸問題を栄養学および健康科学面から取り扱うとともに、その問題解決に必要な知識・技術の習得
(2) 人の「健康」を維持するためには、食の安全・安心の確保が必須であり、現代の食料に関する問題を評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
(3) 自然あるいは社会環境の変化が人の健康に及ぼす影響を評価し、その対策に必要な知識・技術の習得
(4) 食の生産環境に影響を及ぼす「環境汚染」の現状や「国外の食料環境」に関する諸問題を、国際的な観点から把握し、その解決に必要な知識・技術の習得
(5) 管理栄養士免許保持者を対象とした高度専門職業人養成のための教育（臨床栄養師研修等）

● **環境マネジメント領域**

持続可能な**生活・社会環境**の創生を目指し、人間の生活する社会環境の諸問題を扱うとともに、生活する人間と社会環境との相互作用（関係）を明らかにし、かつ、その社会環境が自然環境との調和を図りながら人間にとって合理的で快適なものとなるような生活・社会設計ができる人材育成を目的とした教育研究を行う。

具体的な教育研究内容は、下記のとおりである。

(1) 人の生活様式と地域や国内外の社会環境・自然環境との相互作用について把握し、人の生活環境における諸問題を評価し、その解決に必要な知識・技術の習得
(2) 地域あるいは都市の社会環境における諸問題を把握し、環境調和型社会を目指した（空間・エネルギーなどに関連した）社会設計に必要な知識・技術の習得
(3) 統計学、政策学及び経済学の視点から人間環境の問題を把握・評価し、環境調和型社会を目指した社会政策や環境政策を提案するために必要な知識・技術の習得

修了要件は、本課程に 2 年以上在学し、30 単位(基本科目 4 単位、専門科目と研究科共通科目（特別研究 10 単位を除く）から 16 単位以上、特別研究 10 単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

４．教育職員免許状

環境自然科学領域または栄養健康科学領域を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

領域名	免許状の種類	教科
環境自然科学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科
栄養健康科学	栄養教諭専修免許状	―

５．社会人の入学について

⑴ 社会人の受け入れ

生涯学習の一環として、大学を卒業し企業、教育機関、官公庁、各種施設等で活躍している社会人が、さらに高度な学識や技術を修得するために大学院へ進学しようとする機運が高まっている。本研究科では、このような向学の志を抱く社会人に積極的に応えるために、下記の特例措置をはじめ種々の履修方法を準備している。

⑵ 社会人のための特例措置について

教育方法の特例措置とは、現職教員、公務員、一般企業の社員、団体・施設の職員等の職を有する者、またはその他出産、介護等相当の事由があると認められる者が、夜間、土曜日または夏季・冬季休業期間中に本学授業を受講することができる措置のことである。ただし、この特例の適用を受ける場合においても、原則として１年次においては昼間開講の授業を履修しなければならない。

２年次には、指導教員の承諾を得て、夜間その他特定の時間または時期に授業または研究指導を受けることができる。

６．長期履修制度

意欲ある社会人の入学を促進するために、入学時における自らの計画と申告に基づき、標準修業年限を超える年限で課程を修了することを認める「長期履修制度」を導入している。なお、「出産、介護等相当の事由があると認められる者」についても、これを認めている。

本制度を利用することで、標準修業年限の授業料により、博士前期課程では修業期間を最長４年間まで延長して、必要単位を修得し修士の学位を取得、博士後期課程では最長６年間まで延長して、必要単位を修得し博士の学位を取得することが可能である。

７．自己推薦選抜入試について

学内外の優秀な資質を持つ多様な学生を受け入れることを目的として、専門科目の学力試験を課さずに、面接試験による検査を行い、人間環境科学専攻での勉学と研究の適性の有無を基準に合否を判定する選抜方式を実施する。

この選抜方式は、一般選抜入試・社会人特別選抜入試・外国人留学生選抜入試に先立って行う。

＜夏季試験との併願措置＞

自己推薦選抜入試に合格しなかった者は、令和５年８月５日（土）に行われる夏季試験を別途手続きすることなく受験することができる（入学考査料は不要）。

ただし、その場合においても、16ページ「７．出願手続き」の書類のうち、「⑴ 入学願書及び受験票」のみをあらためて提出しなければならない。（出願期間は令和５年７月10日（月）～ ７月14日（金））

８．授業科目、担当者及び単位数

人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 博士前期課程 ※以下は令和５年度の情報です

区分		授業科目	担当者	単位数
専門科目	環境自然科学領域	無機化学特論	馬 昌珍	2
		物理化学特論	池田 宜弘	2
		環境物理学特論	黒木 昌一	2
		分子分光学特論	瀧上 隆智（非常勤）	2
		環境自然科学特別演習Ⅰ	池田・黒木・馬	2
		環境有機化学特論	吉村 利夫	2
		環境反応化学特論	宇都宮 聡（非常勤）	2
		環境生物化学特論	井上 浩義（非常勤）	2
		生活材料化学特論	吉村 利夫	2
		環境自然科学特別演習Ⅱ	吉村 利夫	2
		細胞機能学特論	田村 典明（非常勤）	2
		環境生理学特論	松尾 亮太	2
		発生生物学特論	弓削 昌弘	2
		環境自然科学特別演習Ⅲ	弓削・松尾	2
		進化遺伝学特論	猪股 伸幸	2
		環境生物学特論	瀧下 清貴	2
		環境自然科学特別演習Ⅳ	瀧下・猪股	2
		生体情報学特論	小早川 義尚（非常勤）	2
		環境自然科学特別講義Ⅰ（物質系）	草壁 克己（非常勤）	2
		環境自然科学特別講義Ⅱ（生命系）	田代 康介（非常勤）	2
	栄養健康科学領域	栄養学特論	佐久間 理英	2
		栄養学特別演習	佐久間 理英	2
		栄養教育学特論	梅木 陽子	2
		栄養教育学特別演習	梅木 陽子	2
		食品学特論	石川 洋哉	2
		食品学特別演習	石川 洋哉	2
		調理科学特論	舟木 淳子	2
		調理科学特別演習	舟木 淳子	2
		生物化学特論	奥村 文彦	2
		生物化学特別演習	奥村 文彦	2

区分		授業科目	担当者	単位数
専門科目	栄養健康科学領域	公衆栄養学特論	南里 明子	2
		公衆栄養学特別演習	南里 明子	2
		人体生理学特論	濱田 俊	2
		人体生理学特別演習	濱田 俊	2
		食品衛生学特論	小林 弘司	2
		食品衛生学特別演習	小林 弘司	2
		臨床栄養学特論	福泉 公仁隆（非常勤）	2
		臨床栄養学特別演習	福泉 公仁隆（非常勤）	2
		公衆衛生学特論	太田 雅規	2
		公衆衛生学特別演習	太田 雅規	2
		運動生理学特論	川中 健太郎（非常勤）	2
		国際食流通学特論	新開 章司	2
		国際食流通学特別演習	新開 章司	2
		臨床栄養師特別研修Ⅰ	片桐 義範	2
		臨床栄養師特別研修Ⅱ	片桐 義範	2
		臨床栄養師特別研修Ⅲ	片桐 義範	2
	環境マネジメント領域	生活環境衛生学特論	小崎 智照	2
		住環境学特論	松永 千晶	2
		環境デザイン学特論	庄山 茂子	2
		環境マネジメント特別演習Ⅰ	豊貞・小崎・松永	2
		生活環境管理学特論	岩﨑 慎平	2
		環境マネジメント特別演習Ⅱ	庄山・岩﨑・若竹	2
		環境政策学特論	辻 信一	2
		環境経済学特論	嶋田 大作（非常勤）	2
		環境マネジメント特別演習Ⅲ	辻 信一	2
		環境統計学特論	藤野 友和	2
		環境情報学特論	藤岡 薫	2
		環境マネジメント特別演習Ⅳ	藤野・藤岡	2
		生活環境生理学特論	前田 享史（非常勤）	2
		人間工学特論	豊貞 佳奈子	2
		環境エネルギー学特論	村川 友美（非常勤）	2
		環境マネジメント科学特別講義Ⅰ（環境生活系）	若竹 雅宏	2
		環境マネジメント科学特別講義Ⅱ（環境政策系）	辻・藤野・藤岡・竹内	2

区分	授業科目	担当者	単位数
基本科目	人間環境科学特論	研究科教員	2
	人間環境科学特別演習	研究科教員	2
研究科 共通科目	研究の倫理と方法	下條 恵子（非常勤）	2
	国際研究活動	新開・猪股・岩﨑・豊貞	2
	国際インターンシップ	豊貞・新開・猪股・岩﨑	2
	専門職特別研修	奥村・吉村・豊貞	2
	デザイン思考	品川 啓介	2
	リーダーシップ特別演習	平山 猛（非常勤）	2
	特別研究	修士論文の指導教員	１０

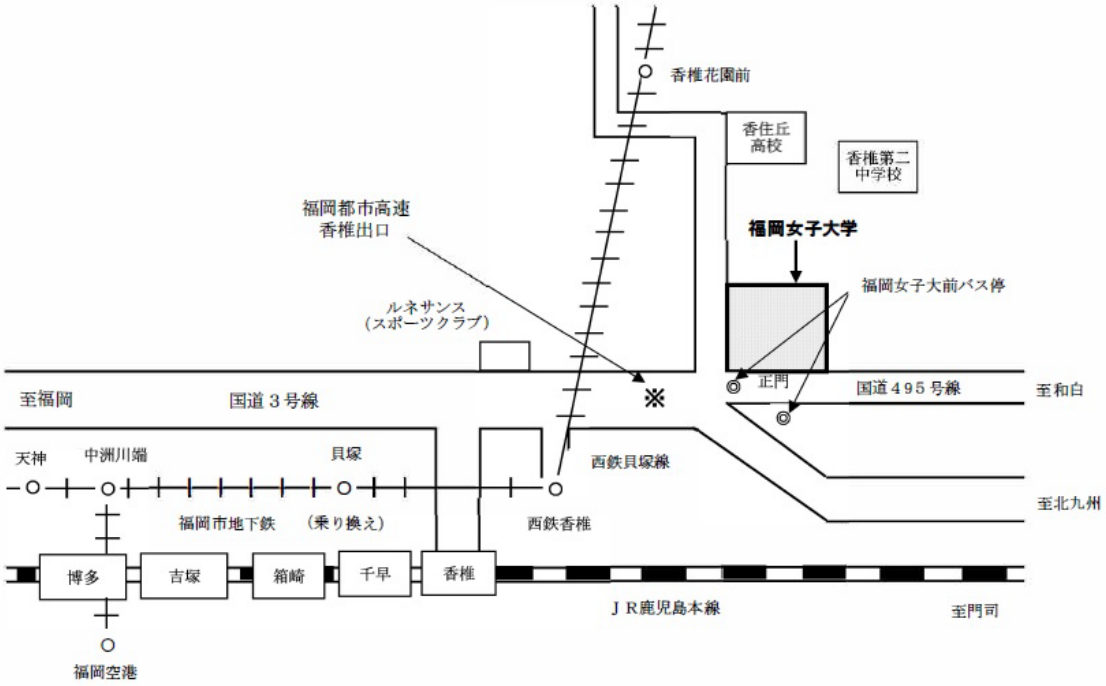
９．研究内容

研究室		担当教員	主な研究内容
環境自然科学領域	物理化学	池田 宜弘	・界面活性剤の水／空気および水／油界面吸着の熱力学的研究 ・水溶液中における界面活性剤のミセル形成に関する研究 ・吸着膜やミセル中での２種の界面活性剤の混和性に関する研究
	高分子材料学	吉村 利夫	・環境調和型高分子材料に関する研究 ・高吸水性高分子材料に関する研究 ・セルロースの誘導体化に関する研究
	物理学	黒木 昌一	・非線形非平衡系の統計力学的研究
	大気環境学	馬 昌珍	・生活環境における大気汚染に関する研究 ・地域及び地球規模の大気環境問題に関する研究 ・大気環境試料の超極微量元素分析に関する研究
	環境生物学	瀧下 清貴	・生物（主に真核微生物）の多様性・生態・進化に関する研究
	進化遺伝学	猪股 伸幸	・適応進化の遺伝基盤に関する研究 ・生物の系統地理学的研究
	神経生物学	松尾 亮太	・神経系の高次機能と可塑性に関する研究 ・神経系の頑健性に関する研究
	発生生物学	弓削 昌弘	・脊椎動物の初期発生の研究
栄養健康科学領域	栄養学	佐久間 理英	・対象者の特性に応じた適切な栄養素摂取量に関する研究 ・災害時における食生活支援に関する研究
	生体制御学	濱田 俊	・脳に作用する生体分子（ビタミン、神経ペプチドなど）の研究 ・味覚器の形成に関する研究
	公衆衛生学	太田 雅規	・運動を中心とした健康増進活動の効果についての実践的研究 ・運動と酸化ストレスについての研究 ・労働適応能力についての研究
	調理科学	舟木 淳子	・食品のテクスチャー、味の改良についての研究 ・プロテアーゼを利用した食品の新規調理性開発 ・ヒトの味覚に影響する物質についての研究（甘味誘導物質等）
	食料経済学	新開 章司	・食料の生産・流通・消費（フードシステム）に関する研究 ・食料のマーケティングに関する研究 ・農業経営に関する研究 ・地域振興や地域ブランドに関する研究

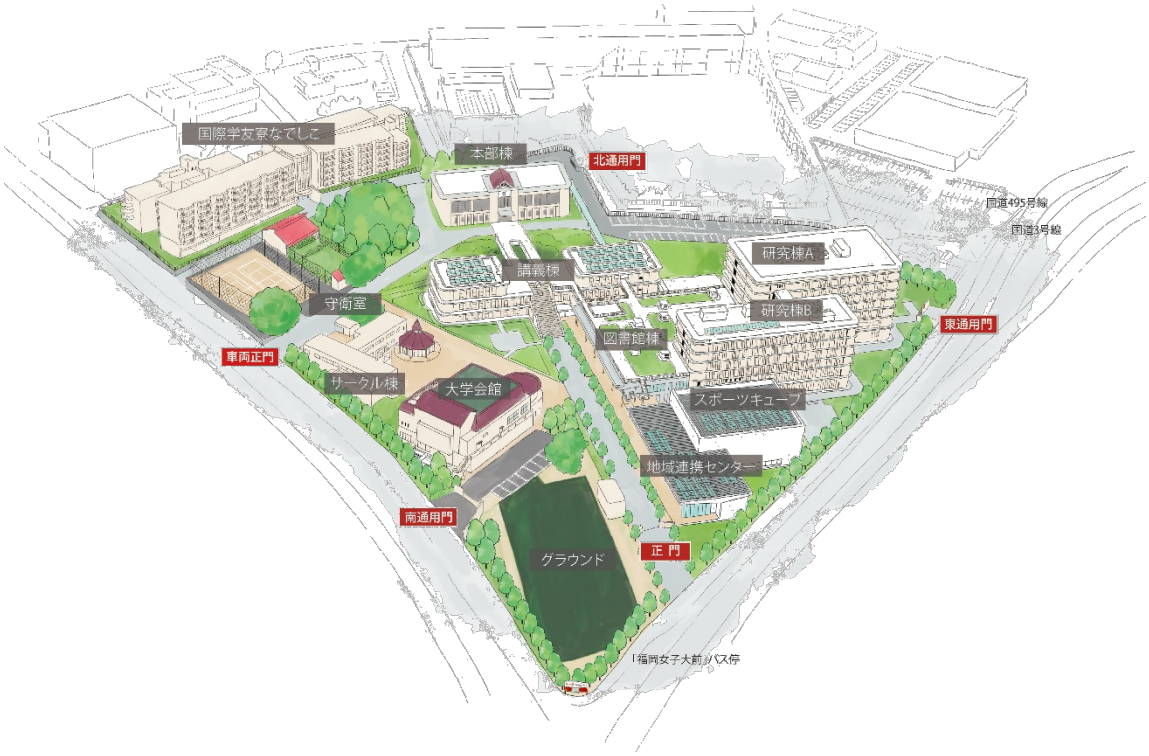
研究室		担当教員	主な研究内容
栄養健康科学領域	食品学	石川 洋哉	・「おいしさ」と「健康維持」に関わる食品機能の評価・解析 ・天然物・食品成分の抗酸化活性評価に関する研究 ・食品の「香り」評価に関する研究 ・新規低温抽出技術を活用した新たな食品の開発
	食品安全学	小林 弘司	・食中毒菌の損傷や回復に関する研究 ・ノロウイルスの検出法の開発に関する研究 ・安全性試験に関する研究
	公衆栄養学	南里 明子	・生活習慣病（糖尿病やうつなど）に関する栄養疫学研究 ・月経関連障害に関する栄養疫学研究
	生物化学	奥村 文彦	・選択的タンパク質分解と付随する疾病に関する研究 ・酵素活性の制御に関する研究
	栄養教育学	梅木 陽子	・栄養教育手法に関する実践研究 ・幼児期における食育に関する実践研究 ・食育の効果に関する調査研究
環境マネジメント領域	環境デザイン学	庄山 茂子	・生活環境における色彩情報が人の心理やユーザビリティに及ぼす影響 ・都市空間における景観色彩に関する研究
	エコライフスタイル学	豊貞 佳奈子	・製品や生活行為のLCA（ライフサイクルアセスメント）に関する研究 ・生活行為由来環境負荷量の定量化研究 ・快適性に着目した住宅設備設計に関する研究
	環境衛生・計画学	小崎 智照	・健康的な環境条件に関する研究 ・環境因子による生理心理作用に関する研究 ・ヒトの生理心理特性の性差に関する研究
	環境政策学	辻 信一	・わが国の環境法の成立と発展に関する研究 ・わが国の公害対策および環境政策に関する研究 ・日本、米国、欧州における化学物質管理法の研究
	環境生活学	岩﨑 慎平	・環境情報に基づく人々の態度・行動変容の評価 ・環境資源管理に係る歴史的変遷の解明と当事者の対処行動の分析 ・環境変化に伴う地域コミュニティ問題の評価
	応用データ科学	藤野 友和	・環境データ、大規模データの統計解析手法および可視化に関する研究 ・政策立案、政策評価のための公的統計データの有効活用に関する研究
	環境数理学	藤岡 薫	・自然環境・社会現象に関する数理モデルの研究 ・人間の嗅覚を利用した臭気の測定と評価方法の検討

研究室		担当教員	主な研究内容
環境マネジメント領域	住環境学	松永　千晶	・社会資本整備、都市計画、まちづくり、交通計画に関する分析と評価及び政策の検討
	建築計画学 ・避難安全計画	若竹　雅宏	・持続可能な地域社会形成に寄与する地域および居住空間計画に関する研究 ・地域コミュニティ施設および小規模高齢者福祉施設における避難安全計画に関する研究

１０．交通案内



【福岡女子大学 キャンパス図】



（付）令和６年度 福岡女子大学大学院
人間環境科学研究科 人間環境科学専攻【博士前期課程】
学生募集要項

（自己推薦選抜入試・一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試）

１．募集人員

専攻	募集人員（夏季試験・春季試験 合計） 自己推薦選抜入試・一般選抜入試・社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試
人間環境科学	合計 12 名

２．出願資格

(1) 一般選抜入試

次の各号の一に該当する女子が出願できる。

① 大学を卒業した者（学校教育法第 102 条）及び入学時までに卒業見込みの者

② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 1 号）及び入学時までに授与される見込みの者

③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 2 号）

④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 3 号）

⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 4 号）

⑥ 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 4 号の 2）

⑦ 指定された専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 5 号）

⑧ 旧制学校等を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 1 号～第 4 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号）

⑨ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 5 号～第 12 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 2 号）

⑩ 大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 22 歳に達する者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）

※ 上記⑩の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、18 ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

(2) 社会人選抜入試

入学時において、社会人として 2 年以上の経験を有する女子※で、13 ページ(1)の①～⑩のいずれかの出願資格を有する者。

※　社会人とは以下の者を含む。

- 家事従事の期間は社会人経験にあたる。
- 海外・国内研修の期間は社会人経験にあたる。

(3) 外国人留学生選抜入試

日本国外において 12 年の課程を修了し 13 ページ(1)の①～⑩のいずれかの出願資格に該当する日本国籍を有しない女子で、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験したか、またはそれに準ずる証明書を提出できる者。国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生は、日本語能力に関する書類の提出を免除する。

(4) 自己推薦選抜入試

上記(1)～(3)に該当する者であって、合格した場合、入学を確約できる者。

※　上記(2)、(3)に該当する者であっても一般選抜入試に出願することは可能だが、一般選抜入試、社会人選抜入試、外国人留学生選抜入試の併願はできない。

３．試験日

自己推薦選抜　　令和 5 年 7 月 1 日（土）
夏季試験　　令和 5 年 8 月 5 日（土）
春季試験　　令和 6 年 2 月 10 日（土）

４．試験場

福岡女子大学

５．試験日程・試験科目

人間環境科学専攻			
試験区分	英 語 （辞書持込可・ ただし電子辞書は不可）	専門科目 （各領域の専門科目の 内容は次頁参照）	面 接
自己推薦選抜入試	―	―	13：00～
一般選抜入試	10：00～11：30	13：00～14：30	15：00～
社会人選抜入試			
外国人留学生選抜入試			

○専門科目の選択　（自己推薦選抜入試を除く）

次の科目の中から、出願時に一般選抜入試の場合は 2 科目、社会人選抜入試・外国人留学生選抜入試の場合は 1 科目をそれぞれ選択すること。

1 科目受験の場合は、志望研究室に対応する科目を以下の表を参考に選択すること。

2 科目受験の場合は、志望研究室に対応する科目およびそれに関連する科目を以下の表を参考に選択すること。その関連する科目に関しては、必要に応じて志望する研究室の担当教員と事前に相談すること。

研究室		担当教員	受験科目
環境自然科学領域	物理化学	池田 宜弘	物理化学
	高分子材料学	吉村 利夫	高分子化学
	物理学	黒木 昌一	物理学
	大気環境学	馬 昌珍	環境分析化学
	環境生物学	瀧下 清貴	生態学
	進化遺伝学	猪股 伸幸	遺伝学
	神経生物学	松尾 亮太	神経科学
	発生生物学	弓削 昌弘	発生生物学
栄養健康科学領域	栄養学	佐久間 理英	栄養学
	生体制御学	濱田 俊	解剖生理学
	公衆衛生学	太田 雅規	公衆衛生学
	調理科学	舟木 淳子	調理科学
	食品学	石川 洋哉	食品学
	食料経済学	新開 章司	食料経済学
	食品安全学	小林 弘司	食品衛生学
	公衆栄養学	南里 明子	公衆栄養学
	生物化学	奥村 文彦	生物化学
	栄養教育学	梅木 陽子	栄養教育学
環境マネジメント領域	環境デザイン学	庄山 茂子	環境デザイン学
	環境政策学	辻 信一	環境政策学
	環境生活学	岩﨑 慎平	環境生活学
	エコライフスタイル学	豊貞 佳奈子	人間工学
	応用データ科学	藤野 友和	統計学
	環境数理学	藤岡 薫	情報数学
	環境衛生・計画学	小崎 智照	環境衛生・計画学
	住環境学	松永 千晶	土木計画学・都市計画学
	建築計画学・避難安全計画	若竹 雅宏	建築学

６．出願期間

自己推薦選抜入試	令和５年６月 16 日（金）～ ６月 22 日（木）17 時まで必着
夏季試験	令和５年７月 10 日（月）～ ７月 14 日（金）17 時まで必着
春季試験	令和６年１月 10 日（水）～ １月 17 日（水）17 時まで必着

７．出願手続き

入学志願者は、次の書類を「６．出願期間」の期間内に、本学アドミッションセンターに提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院 人間環境科学研究科 人間環境科学専攻博士前期課程 入学願書」と朱書きすること。

なお、提出された出願書類及び納入金は原則として返還しない。また、出願書類に不備があるものは、受理しない。**（該当書類が英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）**

(1) 入学願書及び受験票

本募集要項にある「福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 入学願書（博士前期課程）」及び「福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 入試受験票（博士前期課程）」を使用すること。

(2) 研究希望調書

本募集要項にある「研究希望調書」を使用すること。

なお、研究希望調書の作成にあたっては、志願者の希望する本学研究室の担当教員と事前に協議すること。

協議に当たっては、まず福岡女子大学アドミッションセンター（電話 092-692-3100）に連絡をし、本募集要項 15 ページ「専門科目の選択」一覧表に掲載している研究室担当教員名を告げること。

ただし、電話を受け付けるのは、**土・日・祝日以外の 9 時から 16 時まで**とする。

(3) 成績証明書

出身大学の学籍原簿の写し又はそれに相当する単位取得を証明するもの**（要厳封）**。

(4) 最終学校の卒業（修了）証明書もしくは見込証明書

ただし、「２．出願資格(1)②」に該当する者のうち、すでに学位を授与された者は学位記の写し、授与見込みの者は、当該者が在籍する短期大学等専攻科の修了見込証明書及び学位を申請する予定である旨の証明書を提出すること。

(5) 入学考査料

入学考査料は 30,000 円。

納入方法は、銀行窓口での振込「電信扱」に限る。納入後は、原則として返還しない。本募集要項最終ページの「入学考査料振込依頼書」を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C 票を切り離さず銀行へ持参すること。ただし、振込手数料は志願者負担。

振込の後、銀行窓口で返還された B・C 票のうち、C 票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料 振込金受付証明書)を、「入学考査料振込金受付証明書貼付用紙」に貼り付けること。

(6) 写真（2 枚）

たて 4cm×よこ 3cm、正面上半身、無帽、無背景、出願期間以前 3 ヶ月以内に撮影したもの 2 枚を、「(1)入学願書及び受験票」にそれぞれ貼付すること。

(7) 受験票返送用封筒

返信用封筒(長形 3 号 120mm×235mm)に宛先を明記し、84 円切手を貼付すること。

(8) 受験許可書（会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で、現職のまま入学しようとする者のみ）

本募集案要項にある「受験許可書」を使用すること。

会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、本学大学院の受験について所属長の許可書を提出すること。

(9) 在職期間証明書（社会人選抜入試に出願する者のうち、提出できる者のみ）

本募集要項にある「在職期間証明書」を使用すること。

(10) 日本留学試験（EJU)「日本語」成績通知書(写し)またはそれに準ずる証明書

（外国人留学生選抜入試に出願する者、および自己推薦選抜入試に出願する外国人留学生も含む。）

(11) 自己推薦状（自己推薦選抜入試に出願する者のみ）

本募集要項にある「自己推薦状」を使用すること。

これまで勉強してきたことと志望動機との関連を含めた自己推薦を記載すること。

(12) TOEIC・TOEFL のスコアの写し（自己推薦選抜入試に出願する者のみ）

提出は必須ではないが、英語の能力を測る資料とするので、できるだけ添付すること。

◯ 障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上の配慮を必要とする者は、相談に応じるので、事前にアドミッションセンター（電話 092-692-3100）に相談すること。

○ **出願資格の事前審査について**

「２．出願資格(1)⑩」により出願しようとする者について、「大学を卒業した者と同等以上の学力」の認定は、次により行う。なお、必要がある場合は面接を行う。

① 提出書類

書類等	摘要
ア　入学者選抜出願資格認定申請書	本募集要項にある「入学者選抜出願資格認定申請書」を使用すること。
イ　「７．出願手続き」に定める書類（但し入学考査料を除く）	本募集要項の「７．出願手続き」に定める書類（入学考査料は提出しないこと）

ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きする。

② 提出期間

自己推薦選抜入試・夏季試験　令和５年 ６月５日（月）～ ６月８日（木）17 時まで
春季試験　令和５年 12 月４日（月）～ 12 月８日（金）17 時まで

③ 認定結果の通知

認定結果は、次の期日までに本人に郵便または電話で通知する。
自己推薦選抜入試・夏季試験　令和５年 ６月 15 日（木）17 時まで
春季試験　令和５年 12 月 22 日（金）17 時まで

※ 認定された者は、「６．出願期間」の期間内に「７．出願手続き(5)入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。
納入後は、C 票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料 振込金受付証明書)を、「入学考査料振込金受付証明書貼付用紙」に貼り付け、「６．出願期間」の期間内に本学アドミッションセンターに提出すること。

８．合格発表

合格者の発表は、次のとおりである。
自己推薦選抜入試　令和５年７月 ７日（金）
夏季試験　令和５年８月 10 日（木）
春季試験　令和６年２月 16 日（金）

合格者には本人あてに郵送で通知する。 なお、合格発表日の 10 時頃、車両正門横の掲示板及び本学のウェブサイトにおいても合格者の受験番号を掲載する。ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による合否の問い合わせは一切受け付けない。

９．入学手続

(1) 入学手続期間

自己推薦選抜入試 合格者　　令和５年８月 16 日（水）～ ８月 23 日（水）17 時まで

夏季試験・春季試験 合格者　　令和６年２月 19 日（月）～ ２月 26 日（月）17 時まで

郵送の場合は、必ず書留速達とすること。

持参の場合は、受付時間は９時から 17 時までとする。土・日・祝日は行わない。

上記期間中に手続きを完了しない場合、入学を辞退したものとして取り扱う。

(2) 提出書類

ア．誓約書　本研究科所定のもの。合格通知書と同封して郵送する。

イ．住民票　外国人留学生については、市町村長が発行する在留資格及び在留期間を明記したもの。
出願者以外の世帯員については証明不要。

ウ．外国人で入学許可が出国の要件となっている国外在住者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等。

エ．その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

(3) 納入金（令和５年度実績）

入学料　　県内の者　282,000 円
　　県外の者　520,000 円

授業料　　前期分　　267,900 円（年額 535,800 円）

※ 入学手続きでは入学料のみ納入。

※ 入学料について「県内の者」とは、次の各号に掲げる者をいう。

（ア）入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の３月１日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者

（イ）入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に掲げる期間中福岡県内に居住している者

「県外の者」とは、上記以外の者をいう。

※ 在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用される。

※ 本学学部卒業生については、「県外の者」であっても「県内の者」として扱うことがある。

※ 令和５年７月７日からの大雨により被災した福岡女子大学志願者の入学料及び入学考査料について免除措置を実施する。詳しくは本学ウェブサイトを確認すること。
http://www.fwu.ac.jp/exam_info/2024/

(4) 入学手続場所

福岡女子大学 アドミッションセンター　　〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘１丁目１番１号
TEL：092-692-3100　E-mail：nyushi-qa@fwu.ac.jp

(5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること

福岡女子大学 アドミッションセンター　〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL：092-692-3100　E-mail：nyushi-qa@fwu.ac.jp

◎ 外国人留学生への支援制度（令和5年度実績）

外国人留学生として本学大学院に入学した者（県外の者に限る）には、その入学時の成績等により、入学料が半額となる制度及び、入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度がある。

また、本学に設置されている学生寮に入寮することもできる（ただし、入寮できる人数には限りがある）。

◎ 試験結果の開示

試験結果を本人に限り、本学アドミッションセンターにおいて開示する。期間は、次のとおりである。

自己推薦選抜入試・夏季試験　令和5年 8月28日（月）～ 9月8日（金）

春季試験　令和6年 4月 1日（月）～ 4月12日（金）

ただし、9時から17時まで（正午から13時までは昼休み）で、土・日・祝日は開示を行わない。

開示を申請する際には、本学大学院入試の受験票を持参すること。

令和5年度 人間環境科学研究科【博士前期課程】入試スケジュール

<table>
<tr><th>入試区分</th><th>事前審査</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格発表</th><th>入学手続期間</th></tr>
<tr><td>自己推薦
選抜入試</td><td rowspan="2">令和5年
6/5(月)～6/8(木)
17時まで

【本人通知】
令和5年6/15(木)</td><td>令和5年
6/16(金)～6/22(木)
17時まで</td><td>令和5年
7/1(土)</td><td>令和5年
7/7(金)</td><td>令和5年
8/16(水)～8/23(水)
17時まで</td></tr>
<tr><td>夏季試験</td><td>令和5年
7/10(月)～7/14(金)
17時まで</td><td>令和5年
8/5(土)</td><td>令和5年
8/10(木)</td><td rowspan="2">令和6年
2/19(月)～2/26(月)
17時まで</td></tr>
<tr><td>春季試験</td><td>令和5年
12/4(月)～12/8(金)
17時まで

【本人通知】
令和5年12/22(金)</td><td>令和6年
1/10(水)～1/17(水)
17時まで</td><td>令和6年
2/10(土)</td><td>令和6年
2/16(金)</td></tr>
</table>

令和６年度　　入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書【博士前期課程】

Application for Admission to the Graduate School of Health and Environmental Sciences (Master's Program)

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Master's Program for Health and Environmental Sciences		
選抜の区分 Category of selection (いずれかを〇で囲むこと。) Circle the Category	自己推薦選抜入試　Self-recommendation Admission 一般選抜入試　General Admission 社会人選抜入試　Admission for Working Applicants 外国人留学生選抜入試　Foreign Students Admission		
試験日 Test Date (いずれかを〇で囲むこと。) Circle one	自己推薦 Self-recommendation (2023年7月1日(土))	夏季試験 Summer Test (2023年8月5日(土))	春季試験 Spring Test (2024年2月10日(土))
フリガナ 氏名 Name		受験番号	※記入しないこと。 Office use only.
生年月日 Date of birth	昭和　・　平成　　年(西暦　　年)　　月　　日(満　　歳)		
現住所 Present address	〒 電話(Phone)(　　)　　—　　Email:		
保証人 Guarantor (続柄) (Relationship)	氏名(Name) (　　)	住所(Address)　〒 電話(Phone)(　　)　　—	
年　月 Year・Month	履歴事項(高等学校卒業から記入すること。職歴を含む。外国人留学生については小学校から記入。) Curriculum Vitae (Starting with Elementary School)		
・		写真貼付欄 Photo 写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ正面上半身無帽無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×4cm in size and taken within 3 months.	
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
合格通知の受信場所 Address for notification of the application results	〒		

令和６年度　　入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入試**受験票**【博士前期課程】

Admission Slip for Examination

(Master's Program)

<table>
<tr><td>志望専攻名
Desired major</td><td colspan="4">人間環境科学専攻
Master's Program for Health and Environmental Sciences</td></tr>
<tr><td>選抜の区分
Category of selection
（いずれかを〇で囲むこと。）
Circle the Category</td><td colspan="4">自己推薦選抜入試　Self-recommendation Admission
一般選抜入試　General Admission
社会人選抜入試　Admission for Working Applicants
外国人留学生選抜入試　Foreign Students Admission</td></tr>
<tr><td>試　験　日
Test Date
（いずれかを〇で囲むこと。）
Circle the Date</td><td>自 己 推 薦
Self-recommendation
(2023年7月1日(土))</td><td>夏　季　試　験
Summer　Test
(2023年8月5日(土))</td><td colspan="2">春　季　試　験
Spring　Test
(2024年2月10日(土))</td></tr>
<tr><td>フ　リ　ガ　ナ</td><td colspan="3"></td><td rowspan="3">写真貼付欄
Photo
写真はたて4cm、
よこ3cmの大きさ
正面上半身無帽無背景
で出願前3ヶ月以内に
撮影したもの
3cm×4cm in size and
taken within
3 months.</td></tr>
<tr><td>氏　　名
Name</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>受　験　番　号
Examinee No.</td><td colspan="3">※記入しないこと。
Office use only.</td></tr>
</table>

研究希望調書

Statement of Prospective Graduate Student Research Agenda

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科

人間環境科学専攻博士前期課程

氏名 Name			受験番号 Examinee　No.	※1
志望領域 Desired Field		志望研究室 Desired Area of Research(lab.)	※2	

※3 受験希望専門科目 Special Subject	第 1 希望科目	第 2 希望科目

志望の動機（これまでに行って来た研究等の内容についても記載して下さい。）

Motivation(Describe Your Previous Academic Projects.)

研究希望課題 Planned research topic	

希望する研究の内容　Prospective Research Agenda

○※1 の[受験番号]の欄は記入しないこと。　Leave Blank.

○※2 の「志望研究室」欄は、本募集要項の 15 ページの「専門科目の選択」一覧の研究室から一つ選択して記入すること。

○※3 の「受験希望専門科目」において、受験する選抜区分が「一般選抜入試」の受験者は、「第 1 希望科目」欄には、志望研究室に対応する科目を、「第 2 希望科目」欄には選択する 2 つ目の科目を記入すること。また、「社会人選抜入試」または「外国人留学生選抜入試」の受験者は、「第 1 希望科目」の欄に志望研究室に対応する科目を記入すること。自己推薦選抜入試の出願者で夏季試験を併願するものは、この欄にも記入すること。

受 験 許 可 書

福 岡 女 子 大 学 長　殿

受験者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生 年 月 日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者が、令和6年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士前期課程の入学試験を受験することを許可します。

西暦　　年　　月　　日
（令和　　年）

所属機関等住所及び電話番号

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関等名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属長名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

在 職 期 間 証 明 書

Certificate of Professional Career/Employment

現　住　所　〒　　－
Present Address

_____

受験者氏名
Name of Applicant _____

Month_____月　Date_____日/ Year _____年

所属機関名（事業所名） Name of Insititution/Company	
職　　種 Position of Applicant	
在職期間　又は　在職した期間 Period in employment	自　月　日　年 Since　Month_____Date _____/Year _____　～ 至　月　日　年 Until　Month_____Date _____/Year _____

住所（所在地）〒　　－
Address of Institution/Company

_____

_____

勤 務 先 名
Name of Institution/Company or Employer _____

職　　名
Ｐｏｓｉｔｉｏｎ _____

氏　　名
Name(Signature) _____ ㊞

自己推薦状

Self-nomination Form

福岡女子大学長　殿

令和６年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士前期課程の
「自己推薦選抜入試」に出願します。

西暦　　年　　月　　日
（令和　　年）

氏名　　㊞

これまで勉強してきたことと志望動機との関連を含めた自己推薦を記載すること。

入学者選抜出願資格認定申請書

Application Form for Applicant's Eligibility

福岡女子大学長　殿

令和6年度福岡女子大学大学院　人間環境科学研究科博士前期課程に出願したいので、
事前審査をお願いします。

Month＿＿＿＿月　Date＿＿＿＿日／　Year ＿＿＿＿＿年
（令和　　年）

氏　名
Name

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

住　所
Address

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

最終修了(卒業)機関名
Last Academic Background

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

修了(卒業)年月日
Date of Completion

Month＿＿＿＿月　Date＿＿＿＿日／　Year ＿＿＿＿＿年

入学考査料振込金受付証明書貼付用紙

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科
人間環境科学専攻博士前期課程

入学考査料振込金受付
証明書貼付欄

切り取り

A票

振込依頼書

（「福岡女子大学（大学院）」入学考査料）

ご依頼日	科目	
年　月　日	電信扱	手数料　円

振込先	福岡銀行　香椎支店	金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
受取人	預金種別：普　通　／　口座番号：2732681		
	（フリガナ）フクオカジョシダイガク		
	（おなまえ）福岡女子大学		
依頼人（志願者）	（フリガナ）		
	（氏　名）		
	（おところ）　（電話）		

出納印

※ 【取扱金融機関へのお願い】
1．収納印はA・B・C票の３ヶ所にもれなく押印してください。
2．B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3．振込手数料は、依頼人に負担していただくことになります。

（取扱金融機関保管）

（金融機関で切り離してください。）

B票

振込金受取書

「福岡女子大学（大学院）」入学考査料

	年　月　日
金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行　香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	（フリガナ）
	手数料

出納印

（志願者保管）

（振込後C票は切り離しのうえ、指定された貼付欄に貼りつけてください）

C票

「福岡女子大学（大学院）」入学考査料

振込金受付証明書

	年　月　日
金額	百万 千 3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行　香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	（フリガナ）

出納印

（入学考査料振込金受付証明書貼付用）